

環境経営レポート

(対象期間: 2023年6月1日～2024年5月31日)



株式会社カツマタ建設

発行日: 2024年9月30日

目 次

I. 組織の概要	1～2
II. 実施体制	3
III. 環境経営方針	4
IV. 環境経営目標	5
V. 環境経営計画	6
VI. 環境経営目標実績	7
VII. 環境経営計画の取り組み結果とその評価 次年度の取り組み内容	8
VIII. 当社の取り組み	9～15
IX. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果	16
X. 代表者による全体評価と見直し結果	17

I 組織の概要

- 1) 事業者名 株式会社カツマタ建設
- 2) 代表者氏名 勝間田 賢治
- 3) 所在地 本社： 静岡県御殿場市中畑652-55
- 4) 事業活動 土木、建築、とび・土工、屋根、塗装、板金、舗装、大工、
内装仕上、建具、防水、解体工事業
- 5) 従業員数 10名
- 6) 環境管理責任者 東学 伸一
連絡担当者 小川 典子
- 7) 連絡先 TEL (0550)-78-6100
FAX (0550)-78-6101
(E-mail: home@katsu-ken.co.jp)
- 8) 建設業許可
建設業
静岡県知事許可（特-05）第35908号
産業廃棄物収集・運搬 ※自社運搬のみ
第02201167523号

9) 事業の規模

① 設立 2009年6月1日

② 事業規模

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	1,248	1,036	988
従業員	人	10	10	10
事務所床面積	m ²	83.56	83.56	83.56
倉庫床面積	m ²	72	72	72
資機材置場	m ²	1,347	1,347	3,000

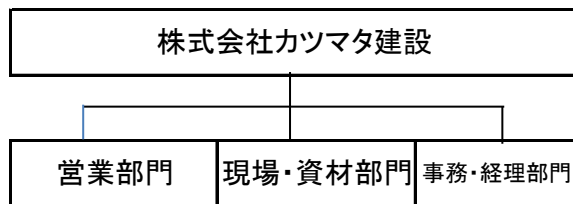
10) 事業年度

6月1日～翌年5月31日

11) 認証・登録の対象範囲

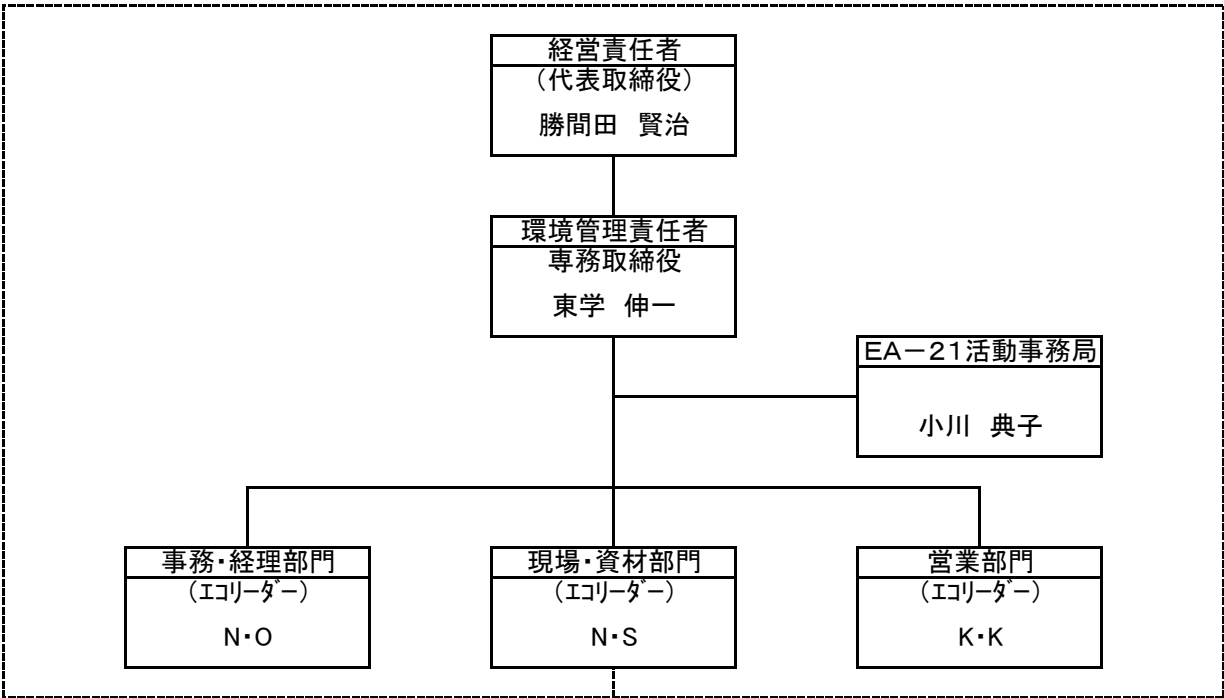
活動: 全事業活動

対象組織:【全組織】 本社・倉庫・資材置場



Ⅱ 実施体制

2024年6月1日 現在



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ①環境経営全般に対する責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③全体の評価と見直し
- ④実施体制の構築

環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への進捗報告

EA-21活動事務局

- ①各部門のデータのまとめ
- ②活動計画の予実績管理
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤法規制最新版管理
- ⑥文書・記録の管理

各部門

- ①環境計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④推進会議の出席
- ⑤従業員教育

Ⅲ 環境経営方針

《企業理念》

(株)カツマタ建設は、お客様に心を込めての経営理念に基づき、美しい近隣の自然を守るための環境に配慮した工事を従業員一丸となり継続的な改善活動に取り組んでまいります。

《環境方針》

1.事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。

- ① CO₂削減の為に省エネ活動に取り組めます。
- ② 廃棄物の削減活動と再資源化推進の活動に取り組めます。
- ③ 水資源を有効活用し、節水に努めます。
- ④ グリーン商品の調達活動に取り組めます。
- ⑤ 建設工事は環境に配慮した工事を実施いたします。
- ⑥ 建設リサイクル法による適正処理をいたします。
- ⑦ 排出ガス対策型建設機械等を積極的に使用します。

2.環境に配慮した活動の目標を設定し、環境目標の達成状況及び活動計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境管理システムを継続的に改善致します。

3.環境に関する法規制及び協定を遵守致します。

4.全社員が環境方針を理解し、それを周知徹底すると共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。

制定年月日 2014年8月1日

改訂年月日 2019年6月1日

株式会社カツマタ建設

代表取締役 勝間田 賢治 印

Ⅳ環境経営目標

2020年度基準実績

			2020年度 通年	
項目			単位	
二酸化炭素	全体		kg-CO2 (百万円当)	32973 (38.05)
		購入電力	kWh (百万円当)	8795 (10.0)
		建設現場電力	kWh (百万円当)	1244 (1.4)
		ガソリン	L (百万円当)	9825 (11.3)
		軽油	L (百万円当)	2230 (2.5)
廃棄物	一般廃棄物の削減		t	0.12
	混合廃棄物		t	779
	再資源化率		%	96.4
水道使用量の削減			m³	32.0
環境に配慮した自社の取り組み (環境配慮工事の提案)			件	7

短期・中期環境目標

※二酸化炭素の目標を原単位表示(売上高)

購入電力二酸化炭素排出係数 東京電力(2019年度)の調整後「0.442kg-CO₂/kWh」

項目			単位	2020年度 基準	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
二酸化炭素	全体		kg-CO ₂ (百万円当)	32973 (38.05)	-7% (35.6)	-8% (35.2)	-9% (34.6)
	内訳	購入電力	kWh (百万円当)	8795 (10.0)	-7% (9.3)	-8% (9.2)	-9% (9.1)
		建設現場電力	kWh (百万円当)	1244 (1.4)	-7% (1.4)	-8% (1.3)	-9% (1.27)
		ガソリン	L (百万円当)	9825 (11.3)	-7% (10.5)	-8% (10.3)	-9% (10.28)
		軽油	L (百万円当)	2230 (2.5)	-7% (2.3)	-8% (2.3)	-9% (2.27)
廃棄物	一般廃棄物の削減		t	0.12	-7%	-8%	-9%
	混合廃棄物		t	779	-7%	-8%	-9%
	再資源率		%	96.4	+4%	+1%	+2%
水道使用量の削減			m ³	32	-7%	-8%	-9%
環境に配慮した自社の取り組み (環境配慮工事の提案)			件	7	10	11	12

V 環境経営計画

目的	区分	項目	活動項目	責任者	スケジュール		
					2023/6/1～2024/5/31		
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	①消灯の徹底(1回／週チェックする)	小川			→
			②人感センサーの導入(設置されていない箇所)				→
			③プルスイッチ化(1箇所を変更)				→
	空調	空調	①温度設定夏28℃ 冬20℃	小川			→
			②クールビズ、ウォームビズ				→
			③フィルター定期清掃				→
			④使用していない部屋の空調停止				→
	ガソリン	乗用車	①エコドライブ	東学			→
			②エコ整備				→
			③日常・定期点検の実施				→
	公共工事 50百万円	削減計画 立案	①見積ソフトによるCO2把握	杉山			→
			②施工計画に削減計画反映と活動展開				→
廃棄物のリサイクル	事務所		①コピー用紙の両面使用	小川			→
			②集約化購買				→
			③FAXのPDF化				→
			④3Rの実践				→
			⑤廃棄物の分別とリサイクル				→
	建設副産物のリサイクル		①廃棄物の分別化	杉山			→
			②分別ルート新規開拓				→
			③電子マニフェストの導入				→
			④仮設資材、用具のリユース化				→
節水	上水		①節水表示	小川			→
グリーン購入	事務用品 他		①環境ラベル対応品の購入	小川			→
			②何回も使える物購入				→
			③小さい容器から大きな容器へ				→
	建設資材 設備		①間伐材使用バリケードの購入	東学		→	
			②リサイクル材の購入				→
環境配慮工事	特定工事		①環境配慮工事の提案	杉山			→
	他		②工事に伴う騒音・振動の防止				→
地域貢献			①近隣道路/草刈り作業	杉山			→

VI 環境経営目標の実績結果

運用期間(2023年6月～2024年5月)実績

※二酸化炭素の目標を原単位表示(売上高)

	項目	単位	2020 基準	2024年 目標	2024年 実績	評価
二 酸 化 炭 素	全体	kg-CO ₂ (百万円当)	32973 (38.1)	30335 (35.0)	33138 (33.5)	× ○
	購入電力 建設現場電力 ガソリン 軽油 灯油	kWh (百万円当)	8795 (10.0)	8091 (9.2)	7192 (7.3)	○ ○
		kWh (百万円当)	1244 (1.4)	1144 (1.3)	2627 (2.6)	× ×
		L (百万円当)	9825 (11.3)	9039 (10.3)	11192 (11.7)	× ×
		L (百万円当)	2230 (2.5)	2052 (2.3)	1097 (1.1)	○ ○
		L				
廃 棄 物	一般廃棄物	t	0.12	0.11	0.24	×
	産業廃棄物	t	779.0	717	2,163.0	×
	再資源化率	%	96.4	97.3	93.2	×
水道使用量の削減		m ³	32.0	29.4	27	○
環境に配慮した自社の取り組み (環境配慮工事の提案)		件	7	11	11	○

<原因分析・是正処理>

購入電力二酸化炭素排出係数 東京電力(2019年度)の調整後「0.442kg-CO₂/kWh」

原因と是正	①廃棄物 一般廃棄物・産業廃棄物・再資源化率共に目標を達成できませんでした。 工事の種類によって、再資源化率が低い廃棄物が多く出てしまうことが要因の一つだと考えられます。 混廃につきましては、分別を心掛けて置き場の整理整頓等をおこない削減することが出来ました。 再資源化率の高い処理業者等を選び処理を依頼するなどの検討をする。 ②建設現場電力 建設現場の電力については、規模の大きな工事を施工中は現場事務所も大きくなります。 そのため、事務所電氣量が大きくなっていきます。 現場が完成することで、削減されるようになりますが、現場事務所でも節電を心掛けるよう周知徹底していきます。
-------	---

Ⅶ 環境経営計画の取り組み結果とその評価 次年度の取り組み内容

目的	項目	活動項目	評 価		今後(次年度)の取組
			評価	内容	内容
二酸化炭素の削減	照明	①消灯の徹底(1回/週チェックする)	○	徹底されている	継続実施
		②人感センサーの導入(設置していない場所)	○	実施された	-
		③ブルスイッチ化(1箇所を変更)	○	実施された	-
		④高効率照明機器の導入	○	電球を一部LED化	継続実施
		⑤照明の点灯細分化	○	実施された	継続実施
	空調他事務機器	①温度設定夏28℃ 冬20℃	○	実施された	継続実施
		②クールビズ、ウォームビズ	○	実施された	継続実施
		③フィルター定期清掃	○	毎週月曜朝一斉清掃時に実施	継続実施
		④使用していない部屋の空調停止	○	徹底されている	継続実施
		⑤遮光対策	○	徹底されている	継続実施
		⑥断熱化対策	○	徹底されている	継続実施
		⑦パソコン・OA機器を省電力化設定	○	徹底されている	継続実施
		⑧外出時、パソコンの電源を切る	○	徹底されている	継続実施
		⑨ホームページのリニューアル	○	徹底されている	継続実施
	乗用車・トラック・他	①エコドライブ	○	徹底されている	継続実施
		②エコ整備	○	実施された	継続実施
		③日常・定期点検の実施	○	実施された	継続実施
		④省エネ車の導入	○	実施された	継続実施
		⑤排ガス対応車の導入	○	実施された	継続実施
		⑥タイヤの空気圧の点検	○	月に一回の点検実施中	継続実施
		⑦不要物の積載をしない	○	毎日確認	継続実施
		⑧各従業員へ使用燃料費を回覧	○	実施された	継続実施
廃棄物のリサイクル	事業所排出物	①コピー用紙の両面使用	○	裏紙使用	継続実施
		③集約化購買	○	徹底されている	継続実施
		④FAXのPDF化	○	徹底されている	継続実施
		⑤3Rの実践	○	徹底されている	継続実施
		⑦廃棄物の分別とリサイクル	○	分別基準と実施	継続実施
		⑧封筒の再利用	○	実施された	継続実施
廃棄物のリサイクル	産業廃棄物	①古紙、カン、ビン、ペットボトル等の分別化	○	徹底されている	継続実施
		②排出業者への分別指導	○	分別基準作成と説明	継続実施
		③分別ルートの新規開拓	○	新規プラスチック販売ルート	継続実施
		④電子マニフェストの導入	○	実施された	継続実施
		⑤新規顧客の開拓	○	各従業員実施	継続実施
	サ 産 建 イ 産 物 リ 設 設 ク リ 副	①廃棄物の分別化	○	基準の作成と分別BOX設置	継続実施
		②電子マニフェストの導入	○	導入	継続実施
節 水	上 水	①節水表示	○	徹底されている	継続実施
		②トイレは大小洗浄の切り替えをきちんと使い分ける	○	徹底されている	継続実施
グリー ン 購 入	事務用品	①環境ラベル対応品の購入	○	実態調査	継続実施
		②何回も使える物購入	○	ボールペン・他	継続実施
	建設資材	①グリーン購入対象優先使用	○	施工計画反映	継続実施
		②資材の再利用	○	資材の洗浄・管理維持	再度見直し継続実施
環境配慮工事		①特定工事での施工計画反映	○	施工計画反映	継続実施(重点項目)
		②環境配慮工事提案	○	創意・工夫提案採用8件	継続実施(重点項目)
地域貢献		①花いっぱい運動	○	花壇の整備	継続実施
		②近隣道路清掃	○	毎週月曜日事務所周辺道路清掃	継続実施
		③地域清掃	○	年2回(3月/7月)	継続実施

Ⅷ 当社の取組み

◆コピー裏紙再利用（メモ帳）/白黒印刷の徹底/エアコン温度設定/節水◆



事務所内活動



現場事務所内活動

Ⅷ 当社の取組み



緑いっぱい運動

Ⅷ 当社の取組み



倉庫・土場植栽



産業廃棄物置き場

Ⅷ 当社の取組み



社有車ハイブリッド車へ移行

Ⅷ 当社の取組み



社有車点検

◆地域との融合◆



事務所横通学路奉仕作業

◆地域との融合◆



事務所横通学路奉仕作業

Ⅸ 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

確認者 小川 典子

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理業者との委託契約	契約(書)の締結	2024.9.1
	マニフェストの管理	A、B2、D票、E票の回収	2024.9.1
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	2024.9.1
	マニフェストの保管	5年間	2024.9.1
	廃棄物の悪臭・飛散防止	保管時には留意する	2024.9.1
	保管場所への掲示	60cm×60cm 以上掲示	2024.9.1
	マニフェストの年間集計と知事(政令市市長)への報告	6月30日までに提出	2024.6.30
	運搬車による産廃の収集、運搬に関わる基準	定める事項を車体の両側に表示	2024.9.1
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	委託先の現地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	2024.9.1
御殿場市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出		2024.9.1
建設リサイクル法	建設副産物のリサイクル	工事計画書・実績報告	2024.9.1
騒音・振動規制法	特定作業規制 地域住民との取り交わし	指定地域・時間帯規制	2024.9.1
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	2024.9.1
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	2024.9.1
環境基本法	一般的な自主努力		2024.9.1
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	2024.9.1
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	2024.9.1
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	2024.9.1
浄化槽法	浄化槽使用開始届け	現事業所移転時	—
	定期検査の実施	1年に1度	2024.3.11
	保守点検の実施	3ヶ月に1度	2024.7.29
道路法、上下水道法、河川法・建築基準法	工事書類の提出・基準の遵守		2024.9.1
建設業法	工事業者登録と更新	登録と5年ごとの更新	2023.5.21
JIS法	フォースター基準		2024.9.1
学校環境衛生基準法	学校の新築・改築・改修工事における濃度測定	VOC化学物質	2024.9.1
フロン排出抑制法	事務所・重機(大型特殊自動車)エアコン簡易点検	3ヶ月に1回点検(年4回) 点検記録を機器撤去後3年間保存	2024.6.10
	エアコン等フロン適正回収	回収業者適正選定	2024.9.1

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

X 代表者による全体評価と見直し・指示

作成 令和6年9月30日

1・ 見直し 関連情報	項 目		確認：（必要に応じて評価・コメント記載）
	1	エコアクション21文書	☒ 記録・文書として作成しました。
	2	環境目標及び目標達成状況	☒ 購入電力・社有車ガソリンは達成
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	☒ 継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒ 特に問題ありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 別紙にて報告するようにします
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒ 別紙報告の通り
	8	その他（ ）	☐

2・代表者による全体評価・見直し指示

物価の上昇・働き方改革などにより、工事費・諸経費などの増加が、今後も続くと考えます。

毎年の工事高の変動により、目標達成が困難な部分はあると考えますが、産業廃棄物の分別や社有車のエコドライブなど、従業員全体にエコアクション21の取り組みが、有効に機能していると判断します。

今後も全体の活動状況などを確認していきながら、足りないところは改善を行い、より一層活動に力を入れていくよう指示いたしました。

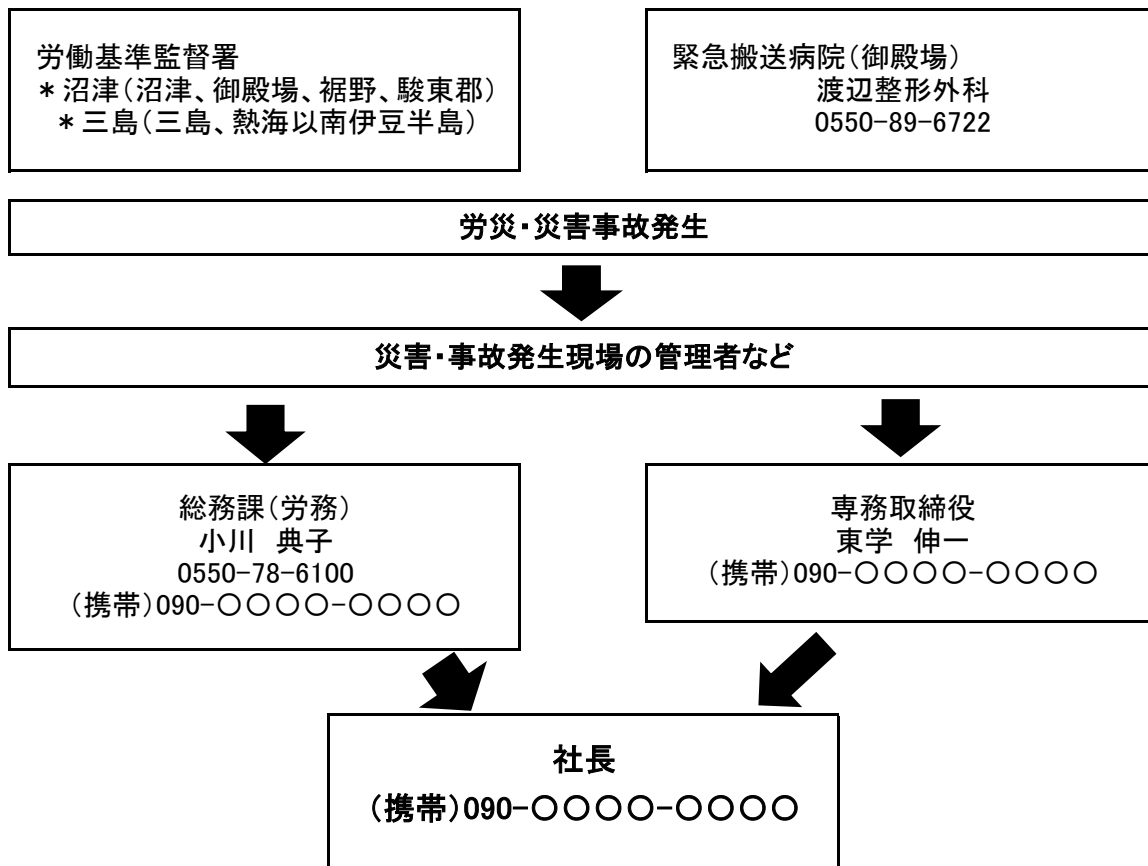
2024年9月30日

株式会社カツマタ建設

代表取締役 勝間田 賢治

見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有 ☒ 無	
2	環境経営目標	有 ☒ 無	
3	環境経営活動計画	有 ☒ 無	
4	環境に関する組織(実施体制含む)	有 ☒ 無	
5	その他のシステム要素	有 ☒ 無	
6	その他(外部への対応)	有 ☒ 無	

緊急連絡先



まず落ち着いて

- ① 安全確保、生命の維持最優先
- ② 的確な判断と指示・対応
- ③ 正確な情報把握と迅速な通報・連絡

報告要領

- ① 何時 ⇒ 平成30年8月31日 17時45分
- ② どこで ⇒ ○○工事現場
- ③ 誰が ⇒ 下請け▲▲建設作業員□□(30才)
- ④ 何を(どこを)どうした ⇒ 状態
- ⑥ なぜ ⇒ 法面が崩落して

緊急時における訓練(消火訓練)

〈緊急時対策〉

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。

更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	対応策
1	工場内にて作業中、使用していた有機溶剤に何らかの火が引火した。	・事前に周囲の可燃物の移動し、危険のないよう努める。 ・あらかじめ消火器等を準備する。 ・作業終了後一時間後に火の気のないことを確認すること。

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対応・訓練等
2024.5.24	工場内工事中に火災の発生	使用してい電動工具の火花によって有機溶剤に引火	対応策の確認・訓練をおこないました。 ①消火器の消費期限等の確認 ②消火器使用訓練
参加者	全社員		

※評価と改善策
消火器の使用方法を実際に経験したことのない者が多くいました。実際に消火活動をおこなってみることで、火災発生時の対応が大きく異なることを、今回の訓練で学びました。
今後定期的に機会を作り、実践していくように努めます。

緊急時における訓練(消火訓練)



環境コミュニケーション受付表

期 間 2023.6.1～2024.5.31

作成・管理担当:小川 典子

NO.	情報 入手日	情報 種類	通報者	通報方法	住所	内容	回答の 必要性	対応内容
					連絡先			
1	／	対策・苦情		電話・メール ()		対象案件なし	必要・不要	
2	／	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
3	／	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
4	／	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
5	／	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	